



浪江町桜レポート Before-After R7.4.4



Before (R6)



宇宙桜

剪定などの手入れは見受けられず

剪定などの手入れの問題もあるが、風を避ける障害物がなく潮風にさらされている。開花するか心配。

After (R7.4.4)



開花前の宇宙桜

開花直前であり蕾が多数ついている

昨年同様、障害物がなく潮風にさらされているが、開花直前の状態だった。例年咲いていることが確認できる。

Before (R6)



潮風が強い立地条件

水分不足から枯れている樹木もある

宇宙桜同様、潮風にさらされているため、植樹後枯れている樹木がある。

小学校の脇に流れ着いたと思われる桜があるが・・・この桜は・・・？

After (R7.4.4)

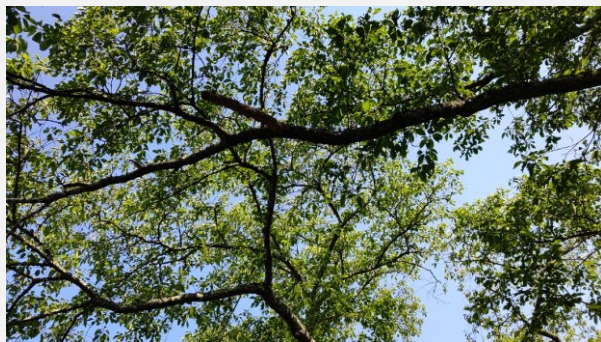


新たに植樹された樹木も

蕾をつけて開花直前（蕾はつけていた）

昨年来た時に、この流れ着いた桜の樹木は本当に花をつけるのか？という議論が繰り広げられたが、無事蕾をつけて開花直前であった。

Before (R6)



間隔狭し

樹木の間隔が狭く手入れが少なめ

葉が多く樹勢の強い樹木が多いが、樹木間隔が狭いことや、テング巢病の樹木が多い。樹木の本数が多く、手入れには人員が必要。

After (R7.4.4)



手入れの成果あり

テング巢病は残るが無事開花した

桜祭り会場となり、シンボリックなプレイスとなった。手入れの成果もあり、桜のメインストリートとして町民の憩いの場に生まれ変わった。

Before (R6)



枯れ枝・キノコ多し

ツタが多く枯れた樹木が多い

樹木の空洞化が進みでおり枯れた樹木が多い。植樹された樹木は元気に育っているが、咲くまでには数年かかる模様。樹木のキノコ気になる。

After (R7.4.4)



植樹した樹木は元気

子供たちの活気が溢れる桜の公園

昨年植樹した樹木が、枯れずに育っていた。現地にいた地元の子供達が弘大の活動を覚えており、声をかけてきてくれた。嬉しい出会い。

Before (R6)

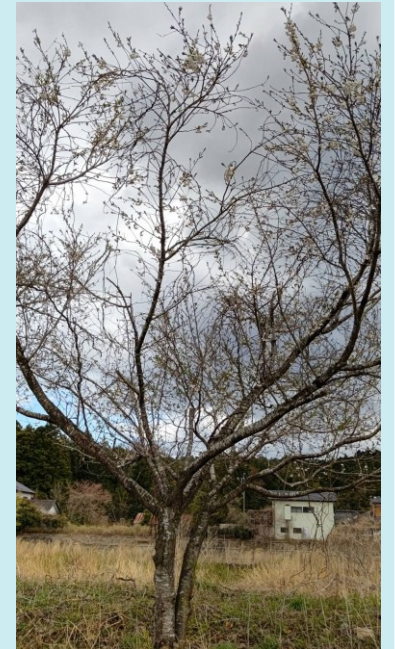


震災以降手入れなし

樹木の数が多く、手入れにはかなりの人手が必要

樹木の間隔が狭く、震災以降手入れがなされていないとのこと。テング巣病や苔（地衣類）が多い。敷地内にはかなりの数の樹木がある。

After (R7.4.4)

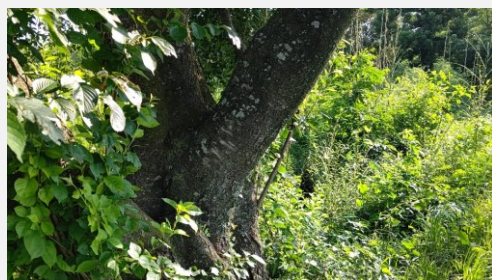
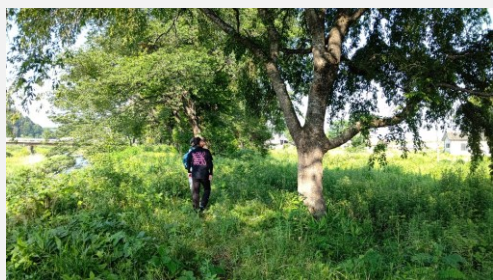


開花間近

手入れはされていないが開花していた

1年中何らかの花が咲いていると、聞いていたとおり桜は既に開花していた。ソメイヨシノか神代曙はこれから。上に行くにつれて蕾が少ない。

Before (R6)



ほぼジャングル

根元の草が多く足場もままならない

樹木の根元は草が生い茂っており、まずは除草などの手入れが必要。

樹木の前に除草等から始める必要あり。

After (R7.4.4)



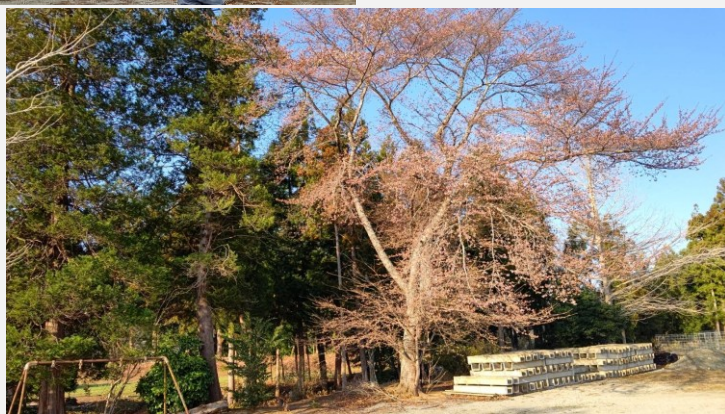
雑草がない

整備されていた??

除草がされおり、樹木の脇に道ができていた。夏の生い茂っていた様子から想像ができなかった樹木が見れたが、今後手入れは必要。

Before (R6)

After (R7.4.4)

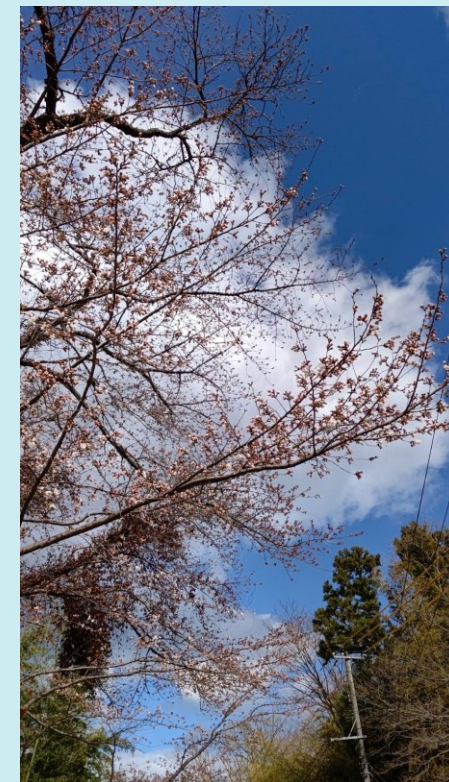


別の樹木のようにだ

開花後と開花前ではまるで別の樹木のように見える

手入れが必要な樹木が多いが、開花はしている模様。しかし、枯れている部分が多く、早めに樹木医による治療が必要な場所。

New (R7.4.4)



由緒正しき桜

浪江の殿様が植樹したとされる桜

竹林に囲われているが、きれいに手入れがなされ、大きく開花を迎えようとしていた。由緒正しき桜がここに復活した。